

# 協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL &amp; FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: [dha\\_epa@par.odn.ne.jp](mailto:dha_epa@par.odn.ne.jp)

森永乳業株式会社 清水 隆司

この「協議会だより」が会員の皆様のお手元に届く頃は、北京での2022冬季オリンピックが終了し、日本選手の活躍が各メディアで総括されている頃でしょう。オリンピックと言えば、わずか半年前にも延期されていた夏季東京オリンピックが開催されました。今回スノーボードハーフパイプで金メダルを獲得した平野歩夢選手は、わずか半年の間に2つのオリンピックに出場するという珍しい記録を打ち立てました。

ところで、オリンピックの開催年には、必ず同じ開催都市で大きな国際会議が開催されるのをご存知でしょうか。この会議も、オリンピックの1年延期に伴い延期され、昨年12月に「東京栄養サミット」として開催されました。また、9月には「国連食料システムサミット」がニューヨークとオンラインのハイブリッド形式で開催されました。この2つの国際会議は、世界の貧困と飢餓の撲滅、人々の栄養改善に向けた国際的な取り組みを進めるために、2030年までのSDGs達成、世界の飢餓と栄養問題解決のためのコミットメント発表など、共通の目標を掲げています。

当協議会の主題であるDHA・EPA等のオメガ-3系多価不飽和脂肪酸は、近年は藻類による培養法での生産も盛んになりましたが、依然として水産資源との関連性が非常に大きいのが現状です。水産資源の資源量保全や海洋生物多様性の維持については、2015年に「国連持続可能な開発に関するサミット」で採択されたSDGsよりも遙か前から大きな関心が払われ、きめ細かな水産資源調査と国際的な漁獲量規制や、養殖漁業の拡大などによる取り組みが行われてきました。

しかし、DHA・EPAの健康効果や医学的機能性への関心が年々大きくなり、その恩恵を求める人々の需要が世界規模で拡大していく中で、「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する」というSDGsの14番目の目標の達成は困難になっているのかもしれませんが。そのためには、藻類による生産とともに、農水省の事業支援を受けた九州大学による「海洋微生物のDHA生合成系の解明」の研究※のように、産官学が連携したパルミチン酸などの一般的油脂原料からのDHA生産技術の実用化にも、大きな期待が掛かります。

(※: 当協議会の1月分の関連情報配信で紹介済。)

## 《新会員のお知らせ》 以下の1社が新しく会員になりました。

- ・ 兼松株式会社 穀物飼料部(正会員) <https://www.kanematsu.co.jp/>

## 《幹事会のうごき》

令和4年1月21日(金)に、第10回幹事会をZoomにより開催した。

- ・ 次年度通常総会・総会講演会の開催について事務局より報告があり、検討の上、正式に決定した。
- ・ 次年度の事業計画の実施案について検討した。

## 《2021年12月の魚油の輸入》

出典: 財務省貿易統計

2021年12月			2021年1月~12月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
750	201,880	269.1	23,003	5,229,852	227.4

## 《魚油の国際価格》 (単位: US\$/トン)

出典: OIL WORLD

	2021年12月	2021年11月	2020年12月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	2,500	2,225	1,864

## <情報> チリ・ペルーの漁獲量 (単位: トン)

出典: iffo

	2022年第4週	2022年第3週	2022年累計	2021年累計
チリ	22,196	25,575	94,685	105,455
ペルー	16,287	3,360	71,595	430,995